

紙推進協ニュース

平成31年1月1日 No.97

紙製容器包装リサイクル推進協議会 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-1-21 新虎ノ門実業会館 8階
TEL : 03-3501-6191 ホームページ : <http://www.kami-suisinkyo.org/>
FAX : 03-3501-0203 Eメール : p@kami-suisinkyo.org

年頭のご挨拶

紙製容器包装リサイクル推進協議会
会長 松田 直行



2019年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、日頃から当推進協議会の活動に格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。おかげさまで当推進協議会も平成最後の新年を迎えることとなりました。

当推進協議会最大の懸案事項である容器包装リサイクル制度の見直しに関連した動きとして、昨年6月には「第四次循環型社会形成推進基本計画」が閣議決定され、ライフサイクル全体での徹底的な資源循環等の将来像が示されました。特に、海洋プラスチック問題の対応を含むプラスチック資源循環の在り方については、議長国を務める本年6月のG20に向け、中央環境審議会循環型社会部会プラスチック資源循環戦略小委員会において「プラスチック資源循環戦略（案）」が取りまとめられ、パブリックコメントが実施されました。当推進協議会も「プラスチックから紙、バイオマスプラスチック等の再生可能資源への適切な代替の促進」等、直接係わる場所もあり、パブリックコメントに意見表明を行いました。

中国廃棄物輸入規制の問題では、紙製容器包装については落ち着いていますが、2020年末に古紙の全面的輸入禁止を控えており、まだまだ予断を許さない状況です。

また、自主行動計画2020の2年目（2017年度）の実績を、12月の経団連「容器包装リサイクル法に関する懇談会」にて3R推進団体連絡会フォローアップ報告として発表しました。

当推進協議会の活動としては、昨年、「創立20周年会員セミナー」や「3R改善事例集第12版創立20周年記念号」の発行を記念事業として実施しました。今年は、引き続き分別収集の実態把握のための様々な調査等を実施し、紙製容器包装の合理的な再資源化推進のための調査研究を行ってまいります。この他に、「紙製容器包装3R改善事例集」の発行や「エコプロ」への出展も行う予定です。これらの活動と情報発信により、市民や行政との連携の深化と活動のレベルアップを進めてまいります。

末筆ではございますが、今年が会員の皆様にとって幸多い年となります様、こころからお祈り申し上げます。

以上

本推進協ニュースNo.97は以下の内容を御報告します。

- 1 平成30年度第2回理事会の報告
- 2 容器包装3R推進のための自主行動計画2020フォローアップ報告
(2017年度実績)
- 3 3R改善事例集第12版創立20周年記念号の完成
- 4 エコプロ2018への出展
- 5 「プラスチック資源循環戦略(案)」に対するパブリックコメント提出

1 平成30年度 第2回理事会の報告

平成30年度第2回理事会を平成30年11月20日に開催し、1)算定係数及び単価・活動報告、2)新会員のご紹介とご加入のお願い、3)自主行動計画2020(2016～2020年度)、2017年度(2年目)フォローアップ報告(案)、3R改善事例集第12版創立20周年記念号(案)、4)容リ制度見直し関連動向、報告・討議を行い各議案について承認されました。以下にその概要を報告いたします。

議題1 算定係数及び単価・活動報告

- ・平成31年度の算定係数、再商品化実施委託単価及び平成30年度抛出委託単価を報告しました。単価算出においては、中国の廃棄物輸入規制の影響が、落ち着きを取り戻してきたことを前提としていること説明しました。
- ・三省を招いて開催した創立20周年会員セミナー、委員会活動、3R推進団体連絡会の活動、環境省のプラスチック資源循環を総合的に推進する戦略を検討する小委員会の討議に関して報告しました。

議題2 新会員のご紹介とご加入のお願い(第1号議案)

- ・現在、新たな会員募集活動を行っておりますが、困難な状況であります。引き続き、新規会員加入への御協力をお願いしました。
- ・第1号議案に特段異議なく、承認されました。

議題3 自主行動計画2020(2016～2020年度)(第2号議案)

- 1) 2017年度のリデュース実績は11.2%削減(前年度11.5%削減)しました。
 - ・売上高原単位でリデュースを計算しますと、2017年度は18.2%削減(前年度18.0%削減)しました。
- 2) 紙製容器包装の回収率調査結果
 - ・2017年度紙製容器包装の回収率は、24.5%(前年度25.1%)となりました。
- 3) 3R改善事例集第12版創立20周年記念号(案)
 - ・今年度の3R改善事例集第12版の内容及び発行予定を報告しました。創立20周年記念号として、初めて当推進協議会の歴史年表や特別企画である「紙製容器包装20年の歩み」を掲載することを報告しました。
 - ・第2号議案について特段異議なく、フォローアップ報告及び3R改善事例集第12版として承認されました。

議題4 容リ制度見直し関連動向

- ・11月13日の第4回プラスチック資源循環戦略小委員会が開催され、第4次循環型社会形成推進基本計画を踏まえて、「海洋プラスチック憲章」に掲げられた事項や数値目標も含めたプラスチックの資源循環を総合的に推進するための戦略の在り方について、過去3回にわたり討議されてきた内容を「プラスチック資源循環戦略(案)」に取りまとめられました(資料2)。
- ・第4回小委員会の資料(プラスチックを取り巻く国内外の状況<第4回資料集>)は、以下の環境省のホームページより参照下さい。

(<https://www.env.go.jp/council/03recycle/y0312-04b.html>)

2 容器包装3R推進のための自主行動計画2020フォローアップ報告（2017年度

実績）

- ・事業者として取り組む第3次自主行動計画（自主行動計画2020）の2年目となる2017年度の成果発表を、12月12日に経団連会館において、報道関係者に向け、幹事長として発表を行いました。報道38社（41名）の参加がありました。
- ・自主行動計画2020のリデュース目標を基準年度（2004年度）14%に対し、2017年度のリデュース実績は11.2%削減（前年度11.5%削減）したことを報告しました。
- ・回収率の目標28%に対し、2017年の回収率は24.5%（前年度25.1%）と報告しました。
- ・紙製容器包装に係る成果発表の内容は、添付したフォローアップ報告（2017年度実績）を参照願いたいと思います（資料1）。

3 3R改善事例集第12版（創立20周年記念号）の完成

- ・総務委員会の活動として、会員の皆様の紙製容器包装の3R事例をご提供いただいて3R改善事例集を平成19年度より毎年発行しております。
- ・平成30年度は、当推進協議会の創立20周年記念号として、通常の3R改善事例に加え、「紙製容器包装20年の歩み」と称して、長期にわたる製品及び活動における改善の経緯を集約し掲載いたしました。新たな改善事例29件に加えて、「紙製容器包装20年の歩み」も12件の事例をご提供いただきました。更に過去2年分の平成29年度及び平成28年度の応募事例、容器包装3Rのための自主行動計画2020

（2年目）のフォローアップ報告をまとめ、「第12版」を完成いたしました。

- ・本事例集は、事業者による紙製容器包装の3R改善の取り組みの内容や実績を、広く行政や一般の方々に理解してもらうことを一つの目的とし、「3R推進団体連絡会」の自主行動計画フォローアップ記者報告会（平成30年12月12日）や、フォーラム・展示会など市町村や市民団体との連携交流の場などで活用させていただいております。
- ・第12版は、12月上旬に会員の皆様に発送いたしました。追加をご希望の会員様は事務局までご連絡ください。送付の際、内容に関するアンケートも同封いたしました。ご意見、ご感想を是非とも事務局までお寄せください。次回以降の編集に向け参考とさせていただきます。有意義で充実したものにしていきたいと考えております。また、今回の制作に多くの方にご協力いただきました。改めて感謝を申し上げます。

4 エコプロ2018への出展

- ・当推進協議会は連続14回目の出展となり、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会の小間にガラスびん、PETボトル、プラスチック容器包装と協同で展示しました。
- ・今年度 全体の入場者数は、前年度より増加し、16.2万人（前年16.0万人）が来場しました。
- ・今回の展示は、紙製容器包装のリサイクルルート、リサイクル手法をわかりやすく説明するパネル及び再商品化製品として板紙・紙箱及びRPF等を展示いたしました。
- ・また本展示会にて、3R改善事例集第12版と当推進協議会のパンフレット「紙製容器包装のリサイクルについて」を配布しました。今回は特に意識への注目が高まったことから、事例集を進んで持ち帰られる方が多かった状況でした。
- ・3R推進団体連絡会の活動として、3Rクイズラリーにも当推進協議会は参画しました。

5 「プラスチック資源循環戦略（案）」に対するパブリックコメント提出

- ・中央環境審議会の「プラスチック資源循環戦略（案）」に対して、11月19日から12月28日の期限内で広く意見公募されたパブリックコメントに関して、当推進協議会としても内容を吟味した上で、意見を集約して作成しました。
- ・12月13日に容リ法改正対策委員会にて討議し、当推進協議会としてのパブコメ案を作成し、理事会、運営幹事会の皆様をはじめ全会員に意見募集の上、総務・技術合同委員会において討議した結果、修正した案を再度全会員に確認の上、2点のパブリックコメントを12月27日に提出いたしました。
- ・また3R推進団体連絡会としてのパブコメも意見確認し、反対意見もありませんでしたので、幹事長として提出しました。

《別添資料》

- 資料1 フォローアップ報告（2017年実績）より抜粋
- 資料2 第4回プラスチック資源循環戦略小委員会
「プラスチック資源循環戦略（案）」に対する意見公募要領
- 資料3 「経団連循環型社会形成自主行動計画」、他